

関西学院大学

短期海外インターンシップ

INアメリカ・ロサンゼルス

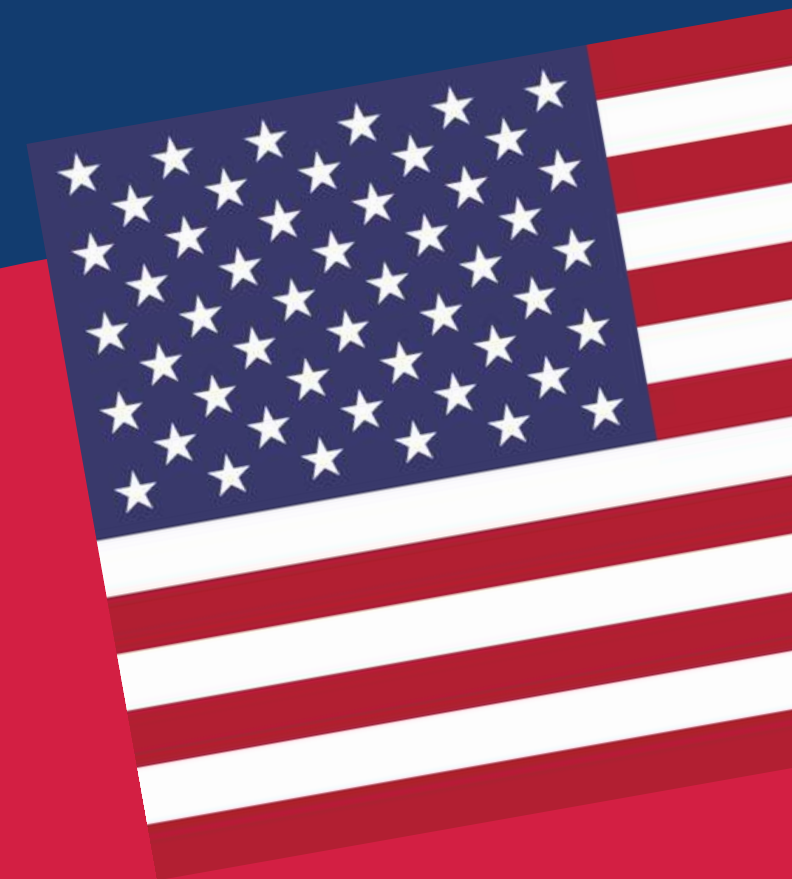
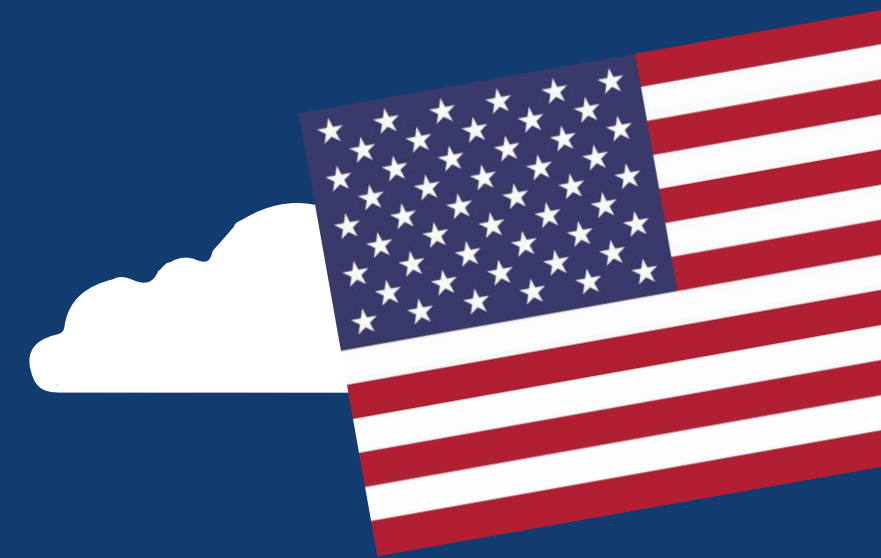




TABLE OF CONTENTS (目次)



①自己紹介+プログラム概要&特徴

運営会社LCE USAのご紹介とプログラムの概要、参加者の声、特徴などをお伝えします。

②なぜアメリカ、カリフォルニアでインターンシップ？

我々が他の国や地域ではなく、アメリカ、カリフォルニアをオススメする理由について解説します。

③プログラム詳細の説明

スケジュール、手続き、費用に関する事など詳細を解説します。

LIGHTHOUSE CAREER ENCOURAGE USA (LCE USA) のご紹介

1989年にロサンゼルスで創業した出版社が前身。
現地日本人/日系社会向けに生活情報誌を発行する中で築いた現地企業・
団体とのコネクションからインターンシップ事業を2000年より展開。
2024年に親会社より独立、スピンオフして現在にいたる。

Today's Speaker:

Nao Imai

鹿児島県生まれ。

高校2年生のときに1年間アメリカへ交換留学を経験。田舎で先の見える人生がつまらないと感じ、興味本位、憧れだけでアメリカへ飛び出し、様々なカルチャーショックを経験。同時に外から日本の良さにも気付く。

大学進学で東京へ上京、新卒で人材系企業へ入社。投資ファンド、事業会社のマーケティング部門、デザイン会社などを経て、2014年10月から独立。たくさんの「働く」を見てきた経験を学生に伝えたいとの思いから、同事業には運営メンバーとして参画、主に募集活動を中心に活動している。



このプログラムの実績と特徴

～主な実績大学（五十音順）～

青山学院大学、関西外国語大学、関西学院大学、関西大学、北九州市立大学、
京都外国語大学、京都産業大学、杏林大学、近畿大学、慶應義塾大学、甲南大学、
神戸大学、国際教養大学、駒澤大学、上智大学、中央大学、筑波大学、
津田塾大学、同志社大学、東洋大学、東京大学、東京工業大学、日本大学、
一橋大学、広島大学、文教大学、法政大学、武蔵大学、明治大学、横浜国立大学、
立教大学、立命館アジア太平洋大学、立命館大学、早稲田大学、他多数

- 年2回、春休みと夏休みに実施、累計2,600人以上が参加した老舗プログラム
- 出版ネットワークから60件以上のインターン受入企業/団体
- 国公立、有名私立大学を始め、全国の学校（大学/短大/専門学校）から文系理系問わず、様々な参加実績（学校経由/個人からの申し込み）
- 米国在住10年以上の日本人スタッフらによる日本語での24時間体制のサポート（緊急対応含む）



これまで参加した大学生の声

「英語や問題解決スキルは日本でもある程度学べるかもしれませんが。しかし、アメリカLAという“異文化の環境”に身を置きながらそれらを学ぶからこそ、**本当の意味での成長や自己理解**につながるのだと思います。」

「殻を破って自己理解を深めたい人、自分のスキルを一段上に引き上げたい人には、このプログラムはとてもおすすめです。**絶対に参加して後悔しない経験**になると、私は断言できます！」

「このプログラムに参加する前は、たったの 25 日間でそれほど自分に対する変化はないのではないかと勝手に思っていました。しかし、**実際に参加したら自分の想像を遥かに超える学びと経験を得ることができました。**自分で起こした行動の先には貴重な体験をできる機会がたくさんあります。」

「私はこのプログラムに参加して、**19年間生きてきた中で一番濃い1ヶ月を過ごした**と思います。」





まとめると・・・



①ロサンゼルスで最も歴史、実績あるインターンシッププログラム

→得られる経験、成長は先輩たちの声からもお墨付き。

②初めての海外、アメリカ、そして英語が苦手でも大丈夫

→長年アメリカに住む日本人スタッフが現地で直接サポートできるプログラム、実は結構貴重です。

③たくさんの企業や団体から選んで働く経験ができる

→自分がこれから就活してみたい業界で働く経験ができる。



TABLE OF CONTENTS (目次)



①自己紹介+プログラム概要&特徴

運営会社LCE USAのご紹介とプログラムの概要、参加者の声、特徴などをお伝えします。

②なぜアメリカ、カリフォルニアでインターンシップ？

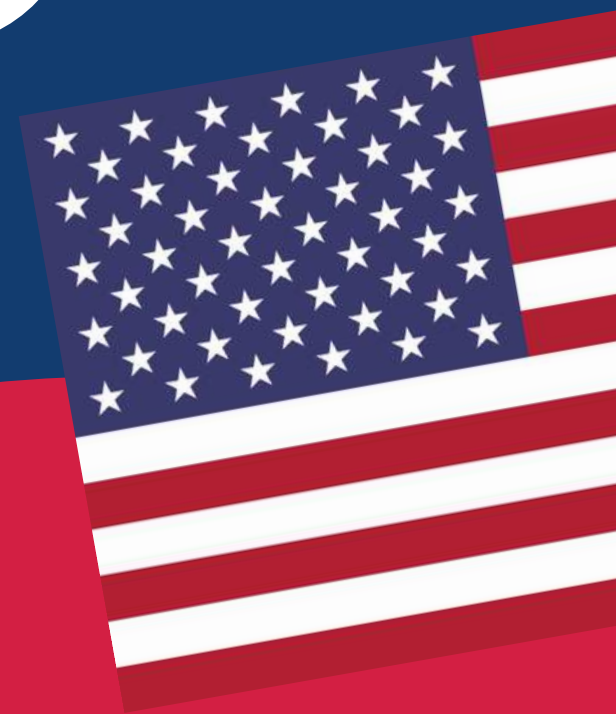
我々が他の国や地域ではなく、アメリカ、カリフォルニアをオススメする理由について解説します。

③プログラム詳細の説明

スケジュール、手続き、費用に関する事など詳細を解説します。

なぜアメリカ、 カリフォルニアで インターンシップ？

～留学や他の国や地域では体験できない5つの理由～





REASON①

英語が母国語の国、様々な訛り、そして、人種のサラダボウル

英語圏で働く経験は貴重ですが、中でも「人種のサラダボウル」と呼ばれるカリフォルニアは特別な環境です。ここでは教科書通りの英語だけでなく、多様な背景を持つ人々の「生きた英語（なまり）」や文化に揉まれることができます。

日本も今後、多国籍化が進み、多様な価値観との共生が求められます。世界の縮図とも言えるこの場所で、いち早く「未来の社会」を体感することは、あなたの今後のキャリアを支える大きな財産となるはずです。

REASON②

世界NO.1の経済大国 桁違いに拡大する規模とスピード

世界No.1の経済大国アメリカ。その中でも全米No.1の経済力を誇るのがカリフォルニア州です。ここには、日本においては想像もつかないようなスピードで動き、世界へトレンドを発信し続けるビジネスの現場があります。私たちが大切にしているのは、その圧倒的な規模感を「知識」ではなく「体験」として得ることです。

そして、その規模もスピードも日本とは桁違いです。
例えば・・・



2024 NOMINAL GDP

1. UNITED STATES	\$29.18T
2. CHINA	\$18.74T
3. GERMANY	\$4.65T
4. CALIFORNIA	\$4.10T
5. JAPAN	\$4.02T
6. INDIA	\$3.90T
7. UNITED KINGDOM	\$3.64T

DATA IS FROM INTERNATIONAL MONETARY FUND'S NOMINAL GDP PROJECTIONS AND BEA

(参考) インフルエンサー フォロワー比較

世界中にインフルエンスするアメリカの「規模」の違いを自ら感じてみてください。



日米のフォロワー数比較 (2025年,SNS各種合計)

【日本】 TWICE モモ：約1,510万人
【米国】 セレーナ・ゴメス：約4.2億人



【日本】 平成フラミンゴ：約360万人
【米国】 MrBeast：約4.6億人



【日本】 渡辺直美：約1,007万人、ローラ：約909万人、中町綾：約280万人、しなこ：約200万人
【米国】 ドウェイン・ジョンソン：約3.9億人、アリアナ・グランデ：約3.8億人、カベンネ・ラメ：約1.6億人

REASON③

世界で流行る新しいサービスが
続々と生まれ、スピーディーに社会に浸透



大手企業だけがすごいのではなく、毎日のように新しいサービスが生まれ、そして、それが流行ったとき、浸透するスピードが桁違いに早いのです。自動運転タクシー、ロボットによる無人配達など新しいテクノロジーやサービスが今ではもう日常当たり前の光景に。
アメリカが本当に強い理由のひとつがここにもあると言われています。



REASON④

ESTAで入国できる貴重なプログラム

ビザ申請に必要な
大量の手続き

ビザ申請に
かかる費用

英語の
大使館面接

インターン先の
自己手配

ビザ申請に
かかる期間

滞在先の
自己手配

アメリカ・グローバルキャリアプログラムで言う「インターン」とは、あくまでも教育を目的とするインターン型「研修」であり、「労働」とは明確に一線を画すもので、お申し込みの際に署名・提出いただく「同意書」にも下記のようにその旨を明記しています。

第18条：報酬について
プログラムは教育目的でありAは、団体/企業に対し、いかなる賃金、報酬金、物品も請求しません。また団体/企業はAにいかなる事由によっても上記金銭・物品の支給も行いません。
Article 18 : Compensation
Because the Program is provided for the purpose of education, Party A shall never ask the organizations / corporations for any wages, rewards or products. Furthermore, the organizations / corporations shall not provide Party A with the above-mentioned monies or products for any reason.
第19条：訪問後の雇用について
Aは、団体/企業に対し、訪問終了後に滞在継続して正式雇用採用やビザ書き換えなどの行いも求めることはありません。また団体/企業は当プログラムが教育目的である事を十分に理解し上記について提案することはありません。
Article 19 : Employment after visiting
Party A shall never request that the organizations / corporations extend Party A's stay after the visitation has been completed and formally hire it for employment or ask for reclassification of its visa. Furthermore, the organizations / corporations shall not suggest any of the above items, based on its understanding that this program is for educational purposes.

よって入国に際しては何らかのVISAは不要、簡易的な渡航許可証であるESTA(申請料金\$40.27/2026年3月現在)をご準備いただきます。

米国はビザ取得が極めて難しい国。

将来同じ経験を求めても、高額な費用と複雑な審査が壁となり現実的ではありません。しかし、本プログラムは学生限定の「教育研修」のため、ESTA（電子渡航認証）のみで参加可能です。手続きや費用のハードルを最小限に抑えて挑戦できるのは、学生である「今」だけの特権です。

アメリカは世界でも有数のビザが取りにくい国のひとつ。
学生期間の今だからこそ、この条件、この費用で参加できる。

REASON⑤

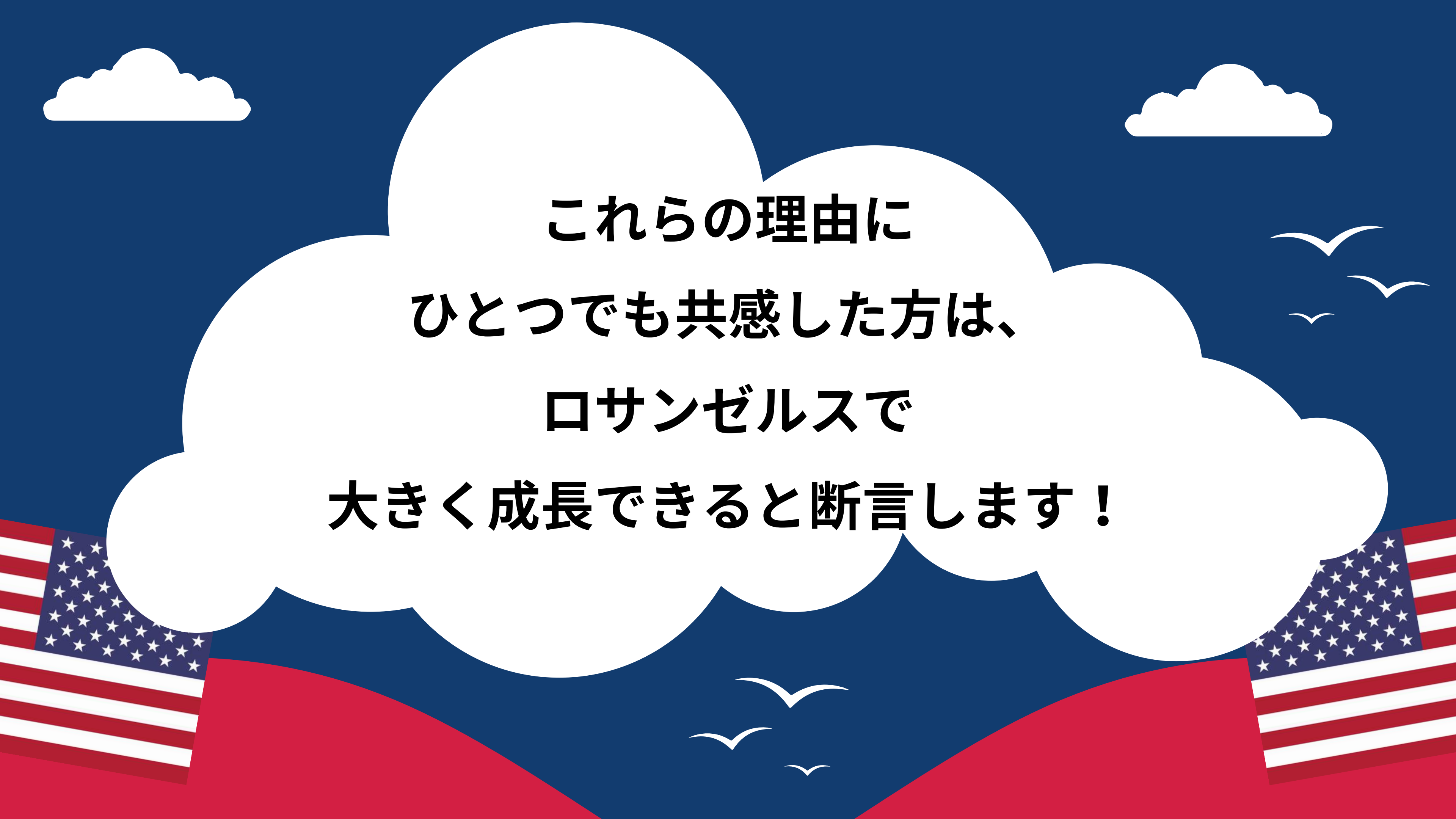
日本企業の大きな存在感 世界で日本人が最も活躍する都市

アメリカに進出する日本企業（約11万社）のうち、約4割がカリフォルニア州に本社がある。その数、なんと約42,000社！

ロサンゼルス都市圏で生活、仕事をしている日本人は届け出数で約7万人、実際には15～20万人ほどが暮らしているとも言われ、世界で一番日本人が住む海外都市である。

カリフォルニア州にはグローバルに活躍する日本人が多数！
たくさんのロールモデルに出会えることが魅力的！





これらの理由に
ひとつでも共感した方は、
ロサンゼルスで
大きく成長できると断言します！



TABLE OF CONTENTS (目次)



①自己紹介+プログラム概要&特徴

運営会社LCE USAのご紹介とプログラムの概要、参加者の声、特徴などをお伝えします。

②なぜアメリカ、カリフォルニアでインターンシップ？

我々が他の国や地域ではなく、アメリカ、カリフォルニアをオススメする理由について解説します。

③プログラム詳細の説明

スケジュール、手続き、費用に関する事など詳細を解説します。

アメリカ・ グローバルキャリアアッププログラム (アメリカインターンシップ IN ロサンゼルス)

【研修日程】 現地ロサンゼルス時間

2027年2月 3日（水）～2月27日（土）
(24泊25日間)



このプログラムで 得られる3つの体験



①3週間のリアルな
【インターンシップ体験】



②異文化・異世代の人
と交わる【交流体験】



③生活の中で英語を使う
【英語体験】



選べる2つのコース（2つからどちらかを選択）

①3週間のリアルな
【インターンシップ体験】

A:就業体験型コース （ホームステイ）

「海外で働くってどんな感じ？」を、まずは自分の身をもって体験したい人におすすめのコースです。一人ひとりの興味や働き方に合わせて約60件の候補の中からマッチングするため、将来のキャリアにつながる実務に挑戦できます。仕事後はホストファミリーと過ごし、生きた英語や文化に触れる毎日。ガイドブックには載っていない、リアルな米国生活があなたを待っています。

B:課題解決型コース （ホテルステイ）

自ら考え、動き、形にする「主体性」が問われる実践的なコースです。課題解決プロジェクトでは、提携企業・団体からテーマが提示されます。ここには細かな指示がないため、いつ、誰に相談すべきかを自ら判断し、チームで計画を推進する力が試されます。

また、これと並行して活動の約3～5割は、研修先である当社にて通常業務のサポートに従事します。当社で働きながら、提携企業・団体からのテーマに取り組む働き方は、多角的なビジネス視点を養う絶好の機会。双方での経験を糧に、最終的には英語を用いたプレゼンテーションで成果を発表します。

①3週間のリアルな
【インターンシップ体験】
A:就業体験型コース

就業体験型コースの概要

- ・ 60件以上の企業・団体から、希望の業界、働き方に合わせて個別マッチング
- ・ 海外ビジネスの現場を肌で感じる就業体験
- ・ 現地スタッフとの交流を通じた異文化理解
- ・ リアルな暮らしを体験できるホームステイ



- ・ 海外企業のリアルな働き方やビジネスカルチャーを体感したい。
- ・ 実務を通じて、仕事への姿勢やビジネススキルを磨きたい。
- ・ ホームステイを通じて、観光では味わえない現地の生活を知りたい。
- ・ 現地の人々との文化交流や、地域コミュニティとの関わりを楽しみたい。
- ・ 「英語を使って働く」という経験を通じて、今の語学力を試してみたい。
- ・ まだやりたいことが明確ではなく、体験を通じて将来の視野を広げたい。

受け入れ実績業界例



メーカー



通信



旅行



ホテル



流通



貿易



アパレル



美容



販売



飲食



メディア



出版



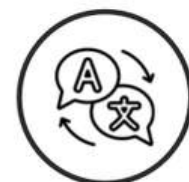
エンタメ



教育



IT



通訳/翻訳



幼稚園



医療



会計事務所



福祉/介護



NPO

他社には真似できない総勢60件以上の研修先候補

研修先で働く様子

①3週間のリアルな
【インターンシップ体験】
A:就業体験型コース

- ・リサーチ
- ・資料作成
- ・データ入力
- ・SNS運用
- ・プログラム開発
- ・現場同行

など皆さんのスキルや成熟度合いによって、昨日まで他の社員がやっていた通常業務を任せてもらいます。

特別に用意されたプログラムではない、
お客様扱いされない、日常の業務にそのまま
入ることが、本当の意味での就業体験！



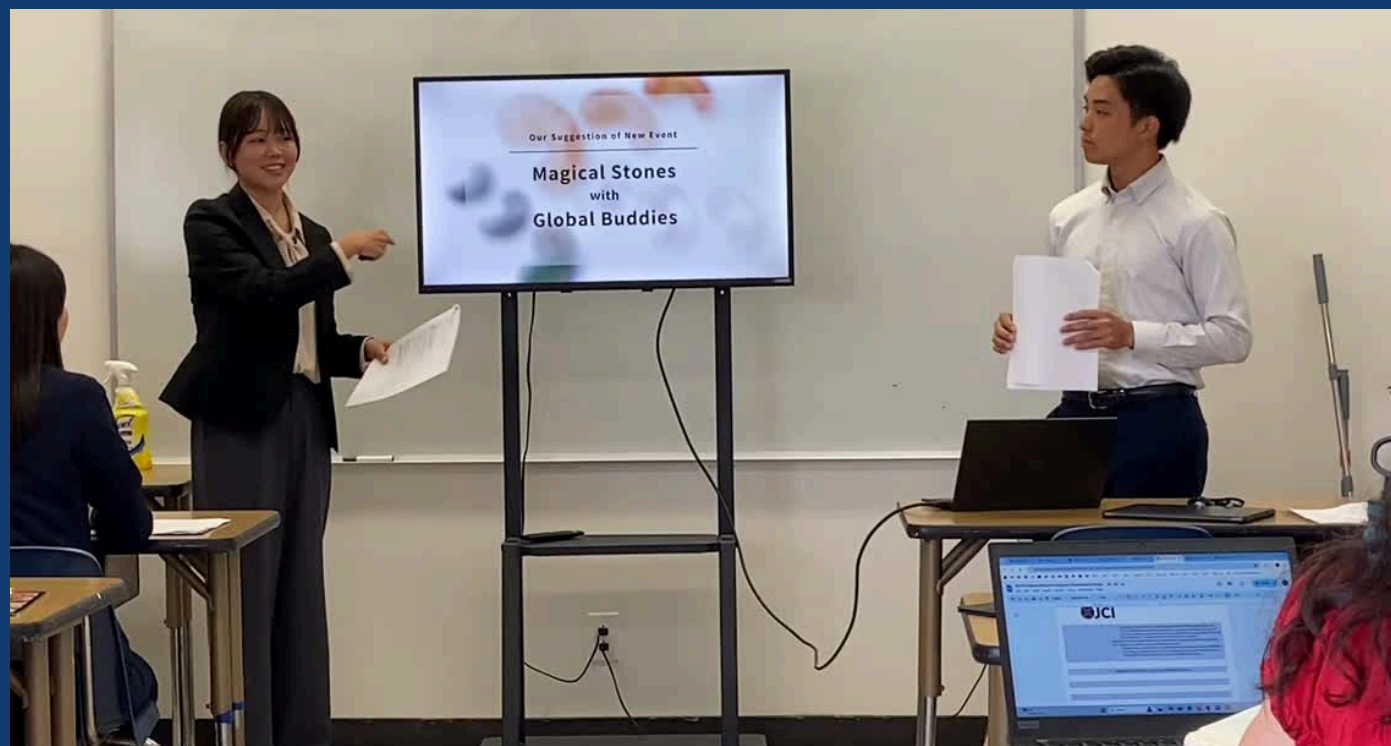
①3週間のリアルな
【インターンシップ体験】
B:課題解決型コース

課題解決型コースの概要

- ・ 学生チームで企業・団体の課題解決に挑む
- ・ 通常業務×企画提案を両立する“ハイブリッド型”
- ・ マーケティング視点や論理的思考力の実践
- ・ 仲間と絆を深め、高め合うホテルステイ

- ・ マーケティングや企画職に興味があり、実践的なスキルを磨きたい。
- ・ 「正解のない課題」に対し、自ら考え行動する「主体性」を養いたい。
- ・ 英語でのプレゼンテーションや英語を使ったリサーチ業務に挑戦したい。
- ・ シミュレーションではなく、現地企業・団体のリアルな経営課題に挑みたい。
- ・ チームで徹底的に議論し、協力して一つの「成果」を生み出したい。
- ・ 自分のアイデアが海外ビジネスの現場で通用するか、実力を試したい。

企業・団体課題の解決に向けたリサーチや企画立案など、
コンサルティング業務の第一歩となる実践的なワークに挑戦していただきます。



①3週間のリアルな
【インターンシップ体験】
B:課題解決型コース



課題解決型コースの課題例

■提案先・課題例：

例①【米系ホテル】 Operations Managerに対する
『宿泊ゲストのための近隣観光MAP』の提案

例②【NPO】日米間の文化交流を目的にした
『交流イベント』の提案

■提案のための業務：

- ・マーケティング調査の企画設計、実施
- ・収集データの分析、まとめ
- ・関係各所への英語インタビュー
- ・提案のまとめ・スライド作成
- ・プレゼンテーション（英語・日本語）

※課題解決提案業務が主となり、通常業務は3～5割程度です。

①3週間のリアルな
【インターンシップ体験】

本プログラムの主たる目的は、
アメリカで活躍するビジネスパーソンと
共に約3週間、「海外で働く」
「海外ビジネスを知る」体験です。



英語を話せるようになりたい。
TOEICの点数を上げたい。

「語学留学」が
マッチするでしょう。

海外で働く体験をすること。
海外ビジネスを知る体験をすること。

日本の文化、風習、日本語も
武器に使いながら、英語も使い働きます。
(英語Onlyの環境ではない)

コース/研修先の決め方

あなたの
やりたいこと

あなたの
性格や英語力

次のステップである「マッチング面談」で
希望や英語力、やる気（レジメ）など
確認させていただきます。

研修先候補（約60件）の中から、ひとりひとりに合った
最適と思われる研修先を当社にて決定。

①3週間のリアルな
【インターンシップ体験】



②異文化・異世代の人と交わる 「交流体験」

せっかくアメリカに行くのに、
研修先の企業/団体しか見られないのは勿体ない！

就業体験の前に、アメリカ到着翌日から4日間の
「合同ビジネス研修」を通して視野を広げます。

毎年、参加した学生の皆さんからは高い評価を
もらっている、LCE USAオリジナルの研修プログラムです。



②異文化・異世代の人
と交わる【交流体験】



ダウントウンクエスト/ エスニックタウン車窓見学

事前に下調べした上で、ロサンゼルスの中で複数のポイントをチームで巡るフィールドワークに参加していただきます。

多民族、多文化のロサンゼルスで地図アプリを使いながら、英語で街中の人と会話する機会も。

街を知る、英語を使う、グループワークに慣れる、そして、ここが友達づくりの第一歩です。



②異文化・異世代の人
と交わる【交流体験】



グローバルリーダー フォーラム/企業訪問

世界で活躍する日系企業/団体のトップと
直接対話できる場です。

普段の生活、就活では絶対に会えないような方々のお話を聞き、小グループで質疑応答を行う、ここにしかない貴重な体験となるでしょう。

※過去のゲストスピーカー実績（役職は当時）

JAPAN AIRLINES CO., LTD. ロサンゼルス支店長・中島喜一氏/藤井フランク氏

JAPAN HOUSE LOS ANGELES 館長・海部優子氏

MARUBENI AMERICA CORPORATION（丸紅米国株式会社）ロサンゼルス支店長・岡田誠氏/近森崇氏/山本一男氏

BUCHALTER, A PROFESSIONAL CORPORATION（バックアルター弁護士事務所）PARTNER・畑晴美氏

ALL NIPPON AIRWAYS（全日本空輸）米州室統括部長 兼 ロサンゼルス支店長・小林弘典氏/廣岡謙幸氏

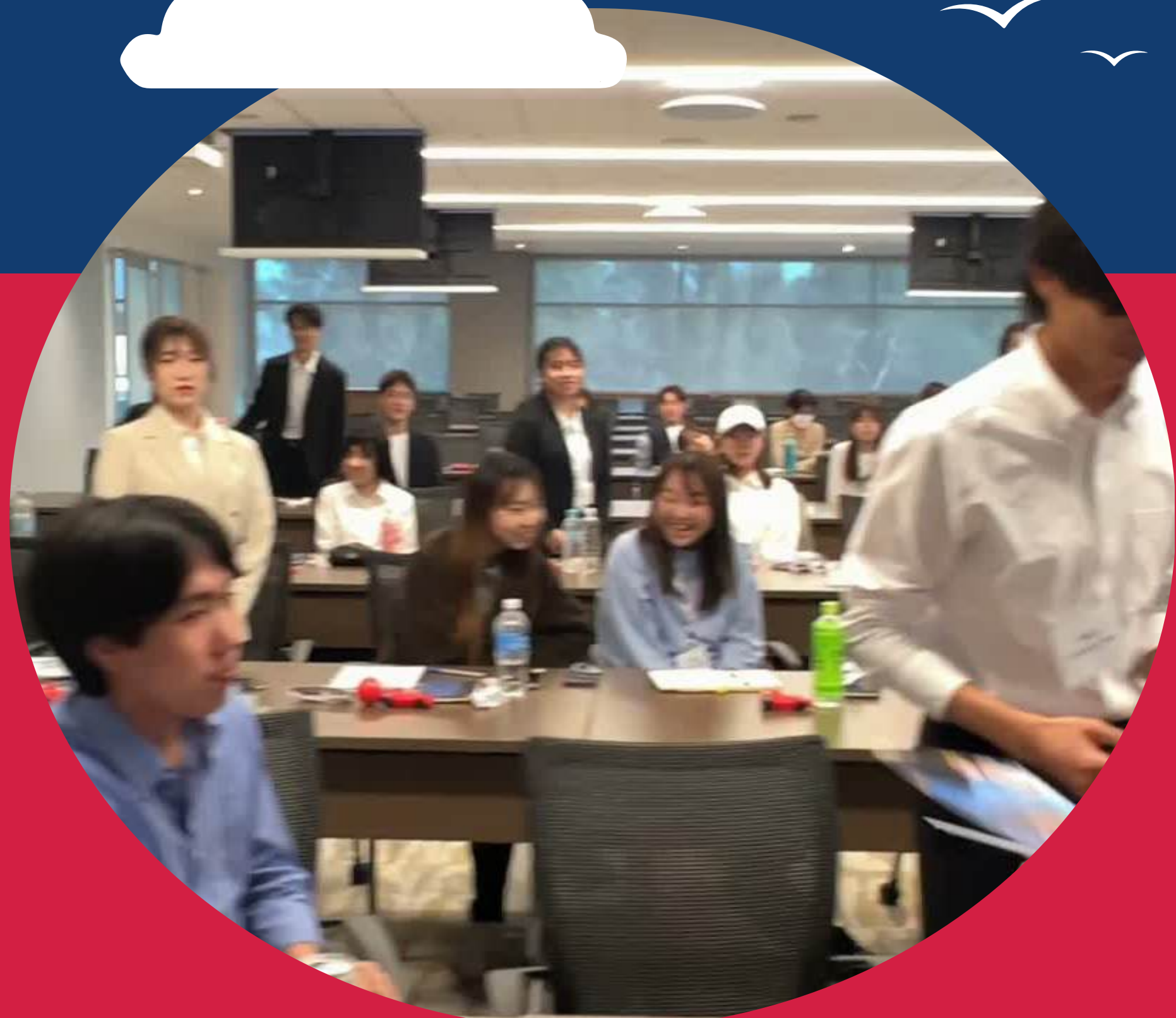
JETRO（日本貿易振興機構）ロサンゼルス所長・瀧統氏/梶田朗氏

SUMITOMO REALTY & DEVELOPMENT GROUP SRD (USA) INC.（住友不動産）PREIDENT & CEO 三好麻里氏

AMERICAN HONDA MOTOR CO., INC コーポレートコミュニケーションズ AVP, ディビジョンリード 梅田博史氏

KINTETSU ENTERPRISES COMPANY OF AMERICA (KEA) 社長 南浦彰氏

PASONA N A, INC 最高人事責任者 徳丸佳代氏



②異文化・異世代の人
と交わる【交流体験】



学生フォーラム

ロサンゼルスの名門大学・UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）を訪れ、現地大学生との交流、ディスカッション、キャンパスツアーを実施します。

会話はもちろん全て英語です。
本場アメリカの大学の様子を見学したり、
キャンパスライフの違いなど様々な発見があるはず。
ショップではアメリカの大学ならではのグッズも
購入できます。



②異文化・異世代の人
と交わる【交流体験】



キャリアフォーラム

皆さんの約10年後くらいをイメージできる、
LA在住の若手日本人ビジネスパーソンの方々を
お迎えし、キャリアに関するディスカッション
を行います。

日本から海外に飛び出した、
比較的年齢の近い先輩たちは、
今後のあなたのロールモデル的存在になるでしょう。

※過去のゲストスピーカー実績（役職は当時）

【業界×職種】宇宙開発×エンジニア 旅行×企画・手配、不動産投資×営業
映像×プロジェクトマネージャー、アパレル×バイヤー、メーカー（機械/食品）×営業/人事/ marketer、IT×エンジニア・経営
航空×総務・経理 総合商社×経理、人材×営業、生命保険×営業、食品×輸入コーディネーター、インフラ×コンサル

【企業・団体】日本国総領事館、H.I.S.、HITACHI、全日本空輸、日本航空、丸紅、パソナ、ヤマハ、日本政府観光局
DENSO、日本生命、銀だこ、SONY、APPLE などその他多数



②異文化・異世代の人
と交わる【交流体験】

合同ビジネス研修の4日間は コースに限らず、 全員同じホテルに宿泊 (3人1部屋で利用)

Residence Inn by Marriott Torrance

レジデンスイン バイ マリオットトーランス

住所：3701 Torrance Blvd., Torrance, CA 90503

TEL：1-310-543-4566

FAX：1-310-543-3026

- ・長期滞在用のホテルで全室キッチン付き
- ・BBQ施設、プール有り
- ・近隣には全米TOP5の規模のショッピングモール



③生活の中で英語を使う 「英語体験」

合同ビジネス研修終了後は、
コース別にステイ方法が変わります。
(就業体験型コース：ホームステイ
課題解決型コース：ホテルステイを継続)
各研修先から1時間程度
(公共交通機関+徒歩) で通えるところにステイします。

人種のサラダボウル、多様性の街なので、様々なルーツや
考え方を持つアメリカ人のご家庭がありますが、
それもアメリカ体験の醍醐味です。
ホストファミリー、ホテルスタッフ、他ゲストと
実際の生活シーンで英語を試してみよう。



LAらしい休日の過ごし方



予定日程表（24泊25日間）※前期日程の場合



曜日	日曜日		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
日付	1/31		2/1		2/2		2/3		2/4		2/5		2/6	
時間 時間数 内容							15:30～ 日本発・現地着・ オリエンテーション ホテルステイ		8:30～17:30 8 合同ビジネス研修 ホテルステイ		8:30～17:30 8 合同ビジネス研修 ホテルステイ		8:30～17:30 8 合同ビジネス研修 ホテルステイ	
日付	2/7		2/8		2/9		2/10		2/11		2/12		2/13	
時間 時間数 内容	8:30～17:30 8 合同ビジネス研修 ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		通勤経路確認日 ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		終日自由 ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）	
日付	2/14		2/15		2/16		2/17		2/18		2/19		2/20	
時間 時間数 内容	終日自由 ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		Presidents' Day（祝日） 終日自由 ※研修先によっては出勤の場合あり ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		終日自由 ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）	
日付	2/21		2/22		2/23		2/24		2/25		2/26		2/27	
時間 時間数 内容	終日自由 ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		9:00～17:00 7 実地研修（インターンシップ） ホームステイ（就業）/ホテルステイ（課題）		現地発	
日付	2/28		3/1		3/2		3/3		3/4		3/5		3/6	
時間 時間数 内容	日本着													

※研修先ごとに、1日の実活動時間数は最短6.5時間～最長8時間の範囲で異なる場合があります。
 ※シフト勤務制の研修先もあります。出勤日・休日は必ず現地到着後、研修先とご確認ください。
 ※そのほか、各時間数は現地の状況により変更になる場合があります。

よくある質問



Q1：就業体験型コースはホームステイ、課題解決型コースはホテルステイとのことですが滞在方法を変更できますか？

原則できません。就業体験型コースは毎日研修先のオフィスまで公共交通機関で通勤していただくので、土地が広く、通勤に膨大な時間がかかる可能性があるホテルステイは受け入れられません。また、課題解決型コースは夕方以降、オフィスが施錠されますのでチームメンバーとのMTGがホテルでできるようにホテルステイとしています。就業体験型コースでホテルステイ、課題解決型コースでホームステイは原則受け入れできません。

Q2：髪の毛が結構明るいんですが、このままでいいですか？ネイルもしたままでいいですか？

どれくらいの髪の毛の明るさ、ネイルならOKかは明確な基準はありませんが、皆さんは旅行や遊びで渡米するわけではないので、受け入れる担当者の立場になって考えてみてください。容姿で評価を下げるようなことがあってはとてももったいないことです。ネイルは食品を取り扱う業界やサービス・接客業では敬遠されることもあります。また、企業・団体によってはオフィス整理、倉庫作業などをお願いされる場合があるので、ネイルが欠けたり剥がれたりする可能性があること、日本のようにすぐネイルサロンで補修できるとは限りません。こうした点を考慮して、過度な髪色や過度なネイルは避けるようにしてください。自由の国アメリカと思いがちですが、一方でドレスコードなどTPOが厳しいのもまたアメリカの特徴です。

Q3：現地での生活にかかるお金はトータルどれくらいですか？現金はどれくらい持っていけばいいですか？

週末の過ごし方や外食の頻度などによって個人差がありますが、これまで参加した学生さんに聞いた平均はおおよそ\$600～\$900でした。ただし、紛失、盗難などのリスクも考えると、全額を現金で持ってくることはオススメできません。アメリカでは多くのお店でクレジットカードが使えますので、カードをメインにすれば現金を使うシーンはそこまで多くなく、上記金額のうち、\$300-400程度を現金で持っていれば十分かと思います。



LCE USA
Lighthouse Career Encourage USA

当社公式WEBページです。

[HTTPS://LCEUSA.COM/](https://lceusa.com/)

★本プログラムの詳細や過去参加学生の体験談等をご覧ください。

[HTTPS://LCEUSA.COM/CATEGORY/INTERNSHIP-PROGRAM/](https://lceusa.com/category/internship-program/)



今後のお問合せはメールもしくは専用LINEまで

USASTAFF@LCEUSA.COM



↑ 事前相談専用LINE ↑

 YouTube



検索してみてくださいね！